令和３年度　vol.5

〔2021. 5. 31〕発行

昔のあそび

園長　外舘　昭良

昔あそびの良さって何でしょう？　…　といっても、そもそも、昔あそびの定義がわかりませんよね(^^;)
僕の考えている昔あそびとは、パッチ（本州ではメンコ）、ビー玉、ゴム飛び、十字架鬼、こま、竹馬、けん玉、竹割、ヨーヨー、お手玉、おはじき、あやとり、かくれんぼ、釘さし、折り紙、はないちもんめ　などのわらべ歌あそび、チャンバラごっこなどなど、昭和の時代に子ども達が遊んでいた遊びの事とします。

この時代の遊びの特徴は、とてもシンプルで、道具も簡素な物ばかりでした。『釘さし』に至っては、必要な道具は五寸釘一本だけです。そもそも、電話はダイヤル式、テレビは白黒、電卓すらなく『そろばん』で計算していた時代です。

でも、その時代の遊びは、決してつまらない物ではなく、とても楽しくて、自分自身この年齢になってもまだあの頃の楽しさを覚えているくらいです。

何がそんなに楽しかったのでしょうか。今考えてみるとそれは、まず友だちと常に話をしながら、一緒に遊んでいたからだと思います。時にはケンカになったりしましたが、いつの間にか仲直りができていました。

そして、昔の遊びに必要なのは、テクニックや技を磨くことや一人ひとりが工夫をして遊ぶことがありました。ゴム飛びでは側転をして高い場所にあるゴムを足にひっかけ飛び越したり、どの遊びにも『技』『工夫』があったように記憶しています。子ども達は遊びの中でこの技を磨き工夫して、自分が納得し遊びの中で仲間にお披露目して、友だちに「すごい！」と認められ自信を付けていたように記憶しています。『昔あそび』の良さは、まさにこの事だと思います。

手が届きそうで届かない、クリアできそうでクリアできない、そのもどかしさの中で、最後まであきらめずに『技』を磨く努力をする事。それは、非認知的能力を育てることにつながっています。非認知的能力とは、数値に表せない能力の事を言います。

① 自分に対する自信、やり抜く力。
② やる気。
③ 粘り強さ、根気。
④ 意思を決める力、精神力。
⑤ 状況を把握する力。
⑥ コミュニケーション能力。（リーダーシップ）
⑦ 問題に対応し立ち直れる力。

⑧ 工夫する力。
⑨ 協調性、好奇心。

このような能力の事を、非認知的能力といいます。これらの力を育てることで、子ども達が将来人生（社会）を歩んでいく中で、自分の進む道をしっかり把握し、困難を乗り越え、それぞれの目標に向かって、歩みを進めることができるようになると言われています。

この能力を高めるためには、幼児期にちょっと背伸びすれば手が届くような少しだけ難しいことに、自分から興味を持ち挑戦すること、そして、その遊びに夢中になって取り組み、あきらめずに最後までやり遂げ、満足感を味わい、みんなで喜びを共感ことが大切だと言われています。

当園でも、さまざまな昔あそびや、『挑戦あそび』に取り組んでいきたいと思います！

＜お　礼＞

『くの　ちゃん』のお家から、たくさんのお花のプレゼントを頂きました。園の花畑が色とりどりのお花でパーッと明るく、キレイになりました(^^)/　ありがとうございました！

＜運動会への取り組み、がんばっています＞

新型コロナウイルスの心配は尽きませんが、子ども達は『運動会』へ向かって、毎日一生懸命に練習に取り組んでいます。

大きな行事の良いところ。皆でひとつの目標に向かって頑張ることは、子ども達にとってとても良い経験になります。本番でかっこよく見せることも大切ですが、それ以上に毎日コツコツと練習に取り組むことで、自分勝手に行動するのではなくルールを守って集団で行動し協調性や忍耐力を高めます。また、自分で次の行動を把握して間違わずに演技することで集中力を高める事にもつながります。もちろん、運動会の取り組みでは身体能力も高まります。

行事は成長発達の節目といいますが、練習に取り組む中で、子ども達は様々な刺激を受けているんですね。運動会当日は毎日頑張ってきた成果をのびのびと発表できると良いですね。

＜お知らせ＞

緊急事態宣言が６月 20 日まで延長されました。このため、行事を変更致しますので、お知らせします。

○　６月 ３日（木）　『動物だって人間デイ』　（延期します。日程未定）
○　６月 ８日（火）　『内科検診』　（延期します。日程未定）

※ 運動会は、７月３日（土）に行う予定です。

以上、よろしくお願い致します。